

スポット情報紙 アスパラガス・ナス栽培試験結果

1 アスパラガス栽培の比較

アスパラガスをハウスで栽培することで、「露地栽培よりも収量が多い」、「茎枯病の防除対策として有効である」、「作期の拡大」となることが園芸振興センターの栽培試験で実証されています。

品種	栽培方法	春どり収量 (kg/10a)	夏秋どり収量 (kg/10a)	規格品合計収量 (kg/10a)
ウェルカム	ハウス栽培	943	1,496	2,439
	露地栽培	344	503	847

※5年目株の結果。

2 アスパラガス新品種 「ふくきたる」

福島県オリジナル品種「ふくきたる」はウェルカムよりも収量が多く、萌芽が早いことや若茎が太く、穂先の締まりがよいことが特性です。園芸振興センターの試験結果（平成24年定植 3年目株）では、ウェルカムよりも若干収量が少なかったものの今後の収量が期待されます。

品種	春どり収量 (kg/10a)	夏秋どり収量 (kg/10a)	規格品合計収量 (kg/10a)	平均重 (g/本)
ふくきたる	159	648	807	25.3
ウェルカム	145	735	880	21.9

3 ナスの整枝作業の省力化

葉かき、整枝作業の有無による比較試験を行いました。

規格品収量は同等となり、整枝作業の省力化が可能ですが、無整枝区ではキズ果等の規格外品が多いため、収穫期に繁茂しているところの整枝を行うことで、規格品収量の増大が期待できます。

品種	試験区	規格品 (kg/10a)	規格外品 (kg/10a)				規格品 割合 (%)
			キズ果	虫	その他	合計	
くろべえ	無整枝区	1,936	1,337	244	168	1,748	52.5
	整枝区	1,959	564	141	124	829	70.3

※無整枝区：V字型4本仕立てとし、葉かき、整枝を行わない

整枝区：V字型4本仕立てとし、葉かき、整枝を行う

